



2025 年度 JFA コース報告書 JFA ユース B コーチ養成講習会



報告者：垣内 海斗
日程：前期 2025年6月3日(火)～2025年6月7日(土)
中期 2025年9月23日(火・祝)～2025年9月26日(金)
後期 2025年12月9日(火)～2025年12月11日(木)

場所：大阪・J-GREEN 堺
チューター：土橋 正樹 (JFA コーチ)
白井 貞義 (JFA・U17 女子日本代表監督)

参加者：前期 23名 中期 23名 後期 23名
補助選手：興国高校サッカー部 履正社高校サッカー部 JFA アカデミー堺



【学習目的】

U-11～U-15 年代の指導のリーダーとなる人材を養成と、所属地域での U-11～U-15 年代のゲーム・トレーニング環境を整備・充実させるための諸活動において、リーダー的立場に立って活動ができる人材を養成することを目的とする。
(JFAHP より)

【学習目標】

前期	中期	後期
<ul style="list-style-type: none"> ・テクニックの獲得・質の追求 ・プランニング 反復回数/グルーピング ・コーチング テンポ(強度)/シンクロとフリーズ 	<ul style="list-style-type: none"> ・リレーションシップ ・グループへの働きかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・原則の理解 ・3ゾーンでの判断基準

【学習内容】

講義	実技・指導実践	試験・課題
前期		
フィジカル 栄養学・発育発達・心理学 JFA アカデミーの取り組み 代表監督講義 個別育成の重要性	指導実践①2人組(W-up/TR1) 指導実践②2人組(W-up/TR1) フィジカル コーチングデモ	【事前課題】 ・指導案作成×6トピック ・JFA アカデミーの取り組みについて ・フィロソフィーの作成 ・プレーモデルの作成
中期		
適正の診断と育成・Talent ID 分析(基本戦術)・GKについて チームマネジメント セーフガーディング	指導実践③4人組(W-up～GAME) 指導実践④3人組(TR1/TR2)	【間の学習】 ・Logbook(指導実践2トピック以上) ・プレーヤープロフィールの作成
後期		
医学 プレゼン実習	指導実践⑤4人組(W-up～GAME) 指導実践⑥個人(TR2/GAME) プレゼン実習	【間の学習】 ・Logbook(指導実践2トピック以上) ・プレゼン資料作成

【実技トピック】

前期	中期	後期
①パス&コントロール ②チャレンジ&カバー ③相手陣での守備	④ビルドアップ ⑤自陣での守備 ⑥前線の崩し	③相手陣での守備 ④ビルドアップ ⑤自陣での守備 ⑥前線の崩し

【学びと課題】

本講習会では、常に「個」の育成に重点が置かれ、サッカーの全体像を持ちながら、個人やグループに働きかけることの重要性を学びました。また、この年代で選手が獲得すべきテクニックや基本戦術の徹底、サッカーの原理原則に基づいた指導の大切さを改めて実感しました。選手が何を考えてプレーしているのか、どこにつまずいているのか、目の前の選手に対する分析やプランニング、コーチングにおいて、どのようにアプローチし改善していくべきかを深く考えさせられました。さらに、個別育成や育成年代における怪我についての講義を通して、サッカー指導に限らず、幅広く学び続けることの大切さを感じました。

前期から後期にかけての講習会では、1種から4種まで全国から集まった受講生の方々と学び合うことができました。グループで行う指導実践では、プランニングから指導実践後の振り返りまで様々な意見交換を行い、指導に対する向き合い方や高い熱量に触れることで、大きな刺激を受けました。

今回の講習会で得た学びを今後さらに深め、より良い指導者になれるよう学び続けることを大切にしながら、私に関わる選手への還元と、岐阜県サッカー協会の発展に少しでも寄与できればと考えています。本講習会へ派遣していただいた岐阜県スポーツ協会並びに岐阜県サッカー協会の皆さまに、心より感謝申し上げます。

作成者：垣内 海斗
報告日：2025年1月25日